

設置の趣旨・必要性

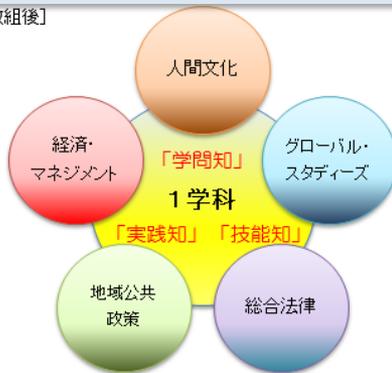
- ・ 18歳人口の減少、志願者・入学者層の変化、社会的ニーズの変化等に対応し、カリキュラムの改編を柔軟に対応できる組織へ
- ・ 地域社会が必要とする人材育成ニーズに対応した5コース制への改革とカリキュラム強化
- ・ 1学科制によるクロスディシプリナリーな教育を推進できる組織体制への改革

人文社会科学部（入学定員：290名）が養成する人材像及び特色

【養成する人材像】

- 人間文化コース
地域の文化資源を発掘・理解し的確に発信できる人材
- グローバル・スタディーズコース
地域社会のグローバル化に対応できる人材
- 総合法律コース
自治体や企業の法的課題解決力の向上に貢献できる人材
- 地域公共政策コース
地域特性に即した活性化策を創案・実践できる人材
- 経済・マネジメントコース
地域企業の経営力・競争力の強化に貢献できる人材

[改組後]



特 色

【2学科制から1学科制へ】

- 総合的な視点に基づいて地域社会における人材養成ニーズに対応
1学科制による人文社会科学の総合的な教育体制を構築
- 地元高校のニーズへの対応
人文社会科学系の総合的な能力・汎用的能力の養成に対応する教育プログラムの構築
- クロスディシプリナリーな教育の実現
 - ・ 学生全員が共通に身に付ける能力の養成
「ジェネリックスキル教育科目」、「実践科目」
 - ・ 各コースの一部の専門科目をコース横断的に選択・履修するしくみ

【教育課程の充実】

- (1) 社会実践力を養う実践科目群の導入
- (2) 技能科目（「言語能力」、「ジェネリックスキル（IT・統計・調査科目群）」）の新設
- (3) 専門分野に限定しない履修制度
- (4) 専門科目の順次性（ナンバリング）により内容的な進度区分による教育科目体制を構築
- (5) 基盤力テスト（「国際基盤力（英語力テスト）」、「専門学問基盤力（専門分野の学問知）」）の実施

全学的資源再配分・ガバナンス改革

- ・ 既存の人文学部の内容を発展させて、人文社会科学部へと改組
- ・ 地域の人材育成ニーズに対応し、教育内容や学生定員数を抜本的に見直し
- ・ 地域教育文化学部や理学部との教育連携体制を構築